

夢

白石第一小・大鷹沢小・越河小で「夢の教室」を開催
一流アスリートが子どもたちに「夢」「仲間」の大切さを伝える

DREAMS

子どもたちの「夢」を応援したい！

子どもの健全育成を目指す公益財団法人日本サッカー協会の「JFAこころのプロジェクト・夢の教室」が、1月24日に大鷹沢小学校、24日・25日に白石第一小学校、2月7日に越河小学校の5年生を対象に開催されました。日本スポーツ界の第一線で活躍してきた一流アスリートが「夢先生」となり、「夢を持つこと」「仲間と協力すること」の大切さなどを、自身の体験談を交えながら児童たちに投げ掛けました。



かわかみ なおこ
川上 直子 さん

PROFILE 1977年兵庫県生まれ。1993年からは田崎ペルーレFC(現TASAKIペルーレFC)で活躍。2003年FIFA女子ワールドカップや2004年アテネオリンピックでは右サイドバックとしてベスト8進出に貢献。代表戦48試合に出場。2005年、日テレ・ベレーザに移籍し、優勝に貢献。2006年現役を引退。



越河小学校

白石第一小学校



1「だるまさんがころんだ」に挑戦する越河小の児童たち。声を掛け合い、5度目の挑戦で無事ゴール！
2_仲間と協力することの大切さを学ぶ白一小の児童たち 3_「新体操がオリンピック種目になって、オリンピックに出場したい」と夢を発表する白一小の遠藤那央くん



大鷹沢小学校

1「夢の教室」の最後に中川先生と記念撮影 2_ゲームをクリアするために、「みんなで協力しよう」と円陣を組む中川先生と児童 3_「パティシエになりたい。そのために毎月お菓子を作り、将来はフランスに留学したい」と夢を発表する佐藤華里さん



なかがわ よしお
中川 善雄 さん

PROFILE 1974年熊本県生まれ。2001年、大崎電気工業移籍時に日本初のプロ契約選手となる。日本リーグ、全日本総合選手権大会制覇に貢献。個人としても3度のリーグベストセブン賞を獲得。日本代表ではキャプテンとして世界選手権やオリンピック予選などに出場。2010年現役を引退。

人生は良いこともあれば悪いこともある
目標を持って頑張れば、見ててくれる人はきつっている

大鷹沢小学校を訪れたのは、元ハンドボール日本代表の中川善雄さん。教室は、前半が体育館で体を動かしながら学ぶ「ゲームの時間」、後半が教室に場所を移し夢について話を「トークの時間」の2部構成で行われました。

「ゲームの時間」では、全員が手をつないで「だるまさんがころんだ」に挑戦。誰か一人でもゴールに近づけば勝ち、一人でも動けばスタートからやり直しというルールの中、仲間と協力することの大切さを学びました。

「トークの時間」では、中川先生が小学4年生の時にハンドボールに出会ったことや、本格的に始めたのは高校に入ってからだったこと、所属していた実業団のチームが休部となり移籍を迫られたこと、日本代表としてオリンピックを目指したことなど自身の経験を話しました。

そして、「テレビで見るスポーツ選手は、一見、華やかな人生を送っているように感じるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。私は多くの成功を得ることができましたが、失敗や挫折も味わってきました。

壁にぶつかることもある
逃げずにチャレンジすれば、努力は裏切らない

白石第一小学校と越河小学校を訪れたのは、元女子サッカー日本代表の川上直子さん。「ゲームの時間」では、「だるまさんがころんだ」に挑戦。「トークの時間」では、川上先生が女の子がサッカーをやっていると笑われる時代に、兄がやっていることは何でもやりたくて、小学1年生の時にサッカーを始めたことや、小学6年生の時に女子のクラブ「田崎ペルーレ」を見学して初めて夢ができたこと、18歳で右ひざを痛め手術。回復するまで1年半、続いて左ひざも同じけがをして夢をあきらめかけたことなど自身の経験を話しました。

「けがをして夢をあきらめかけた時、友達の手紙を読みました。その手紙には、『神様は、乗り越えられる人にしか試練は与えないんだよ』と書かれていました。頑張っても夢は叶うかどうか分かりませんが、『無理だとあきらめない』と強く心に決め、2001年、ついに日本代表に選ばれました。私の宝物は、この時の頑張りで引退しましたが、もし、夢を『日本代表』ではなく『世界一

になる』と決めていたら、私の一つ下の澤穂希選手のように、今もサッカーを続けていたかもしれません。夢をどんどんバリエーションアップして、大きな夢を持つてください。続けて、「壁にぶつかることもあるかもしれませんが、強くなるきっかけだと思っ、逃げずにチャレンジしてください。すぐに結果は出ないかもしれませんが、頑張ったことは必ず自分に返ってきます。『努力は裏切らない』。夢を持って、あきらめずに頑張ることを続けてください。どうしたらいいかわからないら、家族や友達に相談すれば、きっと夢を応援してくれるはず」と児童たちに思いを伝えました。

川上先生は現在、サッカー解説者や女子サッカー普及のためにサッカー教室の指導も行っていきます。そんな忙しい仕事の傍ら、昨年11月、110kmを2日間走るマラソンに初挑戦。ゴールまで長い道のりでしたが、そんな時でも、「夢に向かって、あきらめずに努力してきた経験は、私に強い心をくれました。『あの時に比べたら』と思えば、どんなことにもチャレンジできます」と笑顔で話しました。